

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果とともに職員一同で次のステップへ取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標がたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	ご入居者様の中に不穏になられる方もおられて、不穏解消に対して色々な取り組みを行っていますがなかなか思った結果が得られておりません。不穏解消するためスタッフが1人に付きっきりになることもあり片寄った介護となってしまう。	ご入居者様の不穏解消に対しての的確な支援を見つけ出し、不穏解消を少しでも少なくす。片寄った介護ではなくご入居者様全員が参加できる楽しさを提供する。	全利用者様で行う体操の時間を毎日つくる。全スタッフが体操を行えるよう毎月の全体会議の時間にスタッフ全体で体操を練習する時間をつくる。	3ヶ月
2	52	スタッフがフロアの汚れに気が付いていてもなかなか、清掃する時間が取れない。	ご入居者様と共に清掃する時間をつくり、ホーム内全体の美化を維持出来るようにスタッフ全体で取り組む。	スタッフ間の連携、ご入居者様の日常リハビリを取り入れながら、清掃に取り組む。	2ヶ月
3	14	尼崎市のG・H連絡会の中で年1度の交換研修がありますが、その1度だけで同業者との交流が少ない。	G・H連絡会のスタッフの交換研修以外に、ころあひのG・H(海老江・羽曳野・武庫之荘)の中で交換研修の機会をふやす。	ころあひ、ころあひ武庫之荘、ころあひ海老江3ホームでの交換研修をする。そのため他のホームにも声をかけ計画をたてる。G・H連絡会での交換研修の場を増やすためG・H連絡会の会議の場で提案する。	12カ月
4	19	レクリエーション、遠足などに家族様をお呼びしていたが沢山の人数の家族様が来られ、ご入居者様に対しての対応が疎かになるのではないかとクレームなどがありレクリエーション、遠足に家族様をお呼びする機会が減った。	利用者様の対応も疎かにならないようしっかりと計画を立てレクリエーション、遠足に家族様をお呼びする。	お手紙等で家族様に遠足、レクリエーションの参加、不参加の出欠表をとる。あらかじめ人数の方も上限をきめておき、利用者様の対応が疎かにならないよう細かく計画を立てる。	12カ月
5					

(注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が少ない場合は、行を挿入してください